

社会人のための情報システム誌
— 経営近代化のシステム研究 —

Computer Report

12

2014 No.723

3 はじめの言葉

4 続情報社会を生き抜く

センスと人材の確保

田原文夫

データにはオーナーシップがある。誰でもが勝手自由に使って言い訳ではない。ビッグデータの分析論が流行のようだが、所有権が放棄された万人共有データがあつて、しかも世の中すべてのデータが網羅されているデータベースとして存在していると考えられているようでもある。果たして、そうか。幻想か錯覚だと言っておこう。Intelligence (情報処理) する Intellectual (知力) に裏打ちされていなければ、へたな情報分析作業は、新たな混乱の原因になるばかりである。

10 情報社会を考える その51

情報社会作りに、どう関与し、どう貢献していくか

編集部

昨今のシステム技術者考

前号本編で伝えた新システムへの移行プロジェクトで遅延状況に陥っているカード会社では、一月経過するも依然として新システムへの移行のメドが立っていない。

一月前に発表した新システム移行遅延に関して、移行時期の更なる延期を繰り返しカード利用者(ユーザー)に知らせている。新システムへの移行にともなうカード利用者の締め日、決済日の変更について、予告公表してきていただけに、「より安全・確実に移行するために」という言い訳の繰り返しに虚しさ、憐れさが漂う。

我が国はコンピュータ導入台数、普及率でアメリカに次いで世界第二位だとされてきたが、当該企業のケースに表れているように、我が国のシステム開発力、コンピュータ活用レベルの凋落ぶりがうかがわれる。偏に、システム開発現場の人的能力の不足が主要因だと思われる。

12 日本再生/世界競争力回復のカギ

何故 M-B I M構築が必要か その46

水田 浩

オープンガバメント OG 12 工業化社会をデジタル化する

社会全体が工業社会から情報社会に移る第一段階ではICT(情報通信技術)が個々の組織の効率化のために、それぞれが独立して導入され、第二段階では工業社会の組織はそのままにして組織間をICTで統合してゆく。社会全体を情報社会に変える準備段階である。第一段階での最初のデジタル化運動が1994年から世界規模で行われたCALS運動であった。そして次に行われたのが電子政府運動であった。

18 連載 アーキテクチャ論 (44) アーキテクチャ中心設計手法 ACDM

山本修一郎

国立大学法人 名古屋大学 情報連携統括本部 情報戦略室 教授

Lattanzelによって提案されたアーキテクチャ中心設計手法(Architecture Centric Design Method, ACDM) は、これまで、米国のSEIで開発されてきたアーキテクチャの基礎知識に基づいている。本稿では、まずACDMの書籍の構成について概説する。次いでACDMの基本概念について説明する

29 IT新時代とパラダイム・シフト

第61回 ミニブログ微博、

中国人観光客による買い物を左右

根本忠明

中国人観光客による爆買が、日本も含め世界中で猛威を奮っている。中国人観光客は、他の国の観光客に比べ、2倍以上も買い物をするからである。日本も例外ではない。この中国人観光客の買い物に影響力を持つといわれるのが、中国のSNSであり、その中でもミニブログ微博なのである。今回は、訪日中国人観光客の爆買ぶりと微博について紹介することにしたい。

31 続インテリジェンスへのいざない 59

「大義なし」どころか

争点も論点もない年末選挙

今井 武

本当に慌ただしい年末選挙となった。大義どころか、国民の信を問う基本姿勢がない。信を問うどころか、政治不信を増長するだけではないのかと懸念される。与野党間の争点／論点も定かではない。それだけに投票判断の材料となる各政党の発信情報も不十分さが目立つ。

34 しすてむこらむ

ビッグデータに対処するため

米国エネルギー省、IBM DCS を採用

処理能力で現行スパコンの10倍

メゾフォルテ

ビッグデータ分析に新手法で臨む

IBMはこのほど、米国エネルギー省からローレンスリヴァモア国立研究所とオークリッジ国立研究所向けに、科学、工学、国家安全保障のイノベーションと発見の推進を目的とする世界最先端のデータセントリックスーパーコンピュータシステム(DCS)を3億2500万ドルで受注したと発表した。IBMのデータセントリック手法を用いた新システムは、データが存在するあらゆる場所でそのコンピューティング能力を発揮し、データの移動とエネルギーの消費を最小限に抑えるものだと説明されている。

36 連載 四字熟語カトレーニング

すぎやまチヒロ

セミナー／講演会の講師紹介

ユーザー会/各種研究会/勉強会における
セミナー/講演会での講師をご紹介します。

クラウドサービス導入前のチェックポイント

クラウドサービスは果たしてTCO削減に寄与するか

レガシーマイグレーションの進め方と留意点

これからの企業情報システム構築のポイント

これからの金融情報システムの課題

役に立つ情報管理の実践と課題

情報セキュリティ監査の受け方／臨み方

リポジトリベースのシステム資源管理

その他 クラウドサービス導入にお悩みの方

など 各種コンサルティングも承ります

ご質問／何でも相談は下記まで
株式会社 日本経営科学研究所
ComputerReport編集部

cr-info@jmsi.co.jp

CR 選書のご案内

CR選書

改訂版
データ・ウェアハウス

定価 本体 2,816円+税 送料(〒300) A5版 289頁

石井 義興 著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 目録が必要としているデータ	第七章 情報システム部門しかできないデータ・ウェアハウスのサポート
第二章 データベースとデータ・ウェアハウスの相違点	第八章 データ・ウェアハウスの構築とデータ移行ツール
第三章 OLAP用のデータ・ウェアハウス	第九章 データ・ウェアハウスの利用とエンドユーザーツール
第四章 リレーショナル・モデルとネストド・リレーショナル・モデル	第十章 データ・ウェアハウスの保守とオートメーション
第五章 正規化の問題点とデータ・ウェアハウス	
第六章 データ・ウェアハウス管理システム	付 録

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

実践データ・ウェアハウス
OLAP

定価 本体 3,000円+税 送料(〒300) A5版 249頁

豊島一政・木村 哲 共著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 これまでのEUCIでできなかったこと	第七章 多次元データベースを作る
第二章 OLAPの定義	第八章 多次元データベースの構築
第三章 Code博士によるOLAPプログラムの評価ツール	第九章 多次元データベースとアプリケーション
第四章 分析処理の歴史	第十章 OLAP/サーバーとフロントエンド
第五章 OLAP(多次元データベース)の形	第十一章 OLAPアプリケーションパッケージ
第六章 データウェアハウスとOLAP	付 録

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

CR選書

消費者行動論

定価 本体 3,000円+税 送料(〒300) A4版 181頁

田原文夫 著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 消費者行動論	第四章 消費者意志決定
第二章 消費者行動と心理的決定要素	第五章 消費者行動トピックス
第三章 消費者行動と社会的決定要素	第六章 人間であること(人間行動トピックス)

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

aism 研究活動報告
インターネットセキュリティの
落とし穴

定価 本体 3,000円+税 送料(〒300) A4版 197頁

一橋大学教授 安田 聖 監修
aism情報セキュリティ・マシントリニティ研究会 著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 落とし穴を回避するための基礎テクノロジー	第十一章 WORM、KLEZの監視と駆除記
第二章 aism情報セキュリティマシントリニティ研究会の発足	第十二章 メールが通らない
第三章 認知される電子署名方式の基本原則	第十三章 生体ネット運用のための情報オーナーの課題
第四章 世界を駆けめぐったCodeRedワーム	第十四章 最近のインターネット防衛セキュリティ心得
第五章 情報システムにおけるリスク	第十五章 ITガバナンスの意識と情報セキュリティ対策
第六章 情報漏洩対策	第十六章 情報セキュリティ対策とセキュリティ教育
第七章 VPN(バーチャルプライベートネットワーク)	第十七章 ケーススタディ「情報セキュリティ教育」
第八章 aismの2014年度の事業計画	第十八章 セキュリティポリシー作成にあたってのノウハウ
第九章 情報セキュリティ情報研究会の発足と課題	
第十章 インターネット関連の苦情と不正アクセス	

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

CR選書

エンタープライズ情報システム設計の基本書！
トップ主導の
情報システム革新

定価 本体 3,000円+税 送料(〒300) A4版 271頁

高田 顯重 著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 情報システム利用環境の変遷と今日的課題	第五章 情報システム監査
第二章 経営活動と情報システム	第六章 情報システム部門の体制革新
第三章 経営情報システム革新の方向	第七章 情報システムの成果評価
第四章 トップ主導の情報システム開発	第八章 変化対応のシステム作り

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

計量モデルの構造と解法
—オーダーリングとスパース—

定価 本体 3,000円+税 送料(〒300) A4版 213頁

安田 聖 著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一部 計量モデル	第二部 大規模モデルの効率的解法
第一章 計量モデルと計量モデルの解法と歴史	第五章 計量モデルの分解方法
第二章 線形計量モデルの解法	第六章 方型式のオーダーリング
第三章 非線形計量モデルの解法	第七章 大規模モデルの解法
第四章 反復法の問題点	第八章 スパース
付録・電子計算機の高速化と計算方法	

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

CR選書

『いざ！というときの得広報』
すぐに役立つ実践117カ条

定価 本体 1,748円+税 送料(〒300) A5版 228頁

加藤 洋一 著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

■ 広報ビジネスの前提条件	■ 売定文化企業体質
■ ニュースリリースは東方向運賃	■ 守るも攻めるも広報が窓口
■ 活字媒体の特性をチェックする	■ あなたならどう対応する「事例編」
■ 記事の材料(ネタ)と発表のテクニック	<付> 記事とうまく付き合うための鉄則(まとめ)

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

ザ・ワールドリンク
がんばれ、国際グローバルサーバー—
IBM社に挑んだ国際情報システム作りの物語

定価 本体 1,848円+税 送料(〒300) A5版 268頁

迫 忠幸・湯浅 誠 共著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 発端	第十一章 日本開港手続の違い
第二章 あるプロジェクト	第十二章 米商チーム崩壊の危機
第三章 新しいシステムへの働き	第十三章 新たなメンバー
第四章 WOOIに向けて	第十四章 米商事務所移転と新たな組み
第五章 FJO、IBM競争	第十五章 開港手続とハンタツ
第六章 日本プロジェクトチームの発足	第十六章 ユーザー教育
第七章 プロジェクト開始	第十七章 日本運用体制と本番後日誌
第八章 米商チーム立ち上りの流れ	第十八章 既存システムとのデータ交換の問題
第九章 大きな壁、英語コミュニケーション	第十九章 稼働時の一 直前、稼働、直後の苦しみ
第十章 米商チーム、異なる三人組	第二十章 稼働時の二 安室隆雄と北米センター移設

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp